

全身骨格筋量と栄養状態がもたらす食道癌術後の短期成績、長期成績への影響

1. 研究の対象

2009年1月～2012年12月までに食道がんで手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

目的：

全身の骨格筋量が多いと、術後の合併症が少ない、あるいは術後長期にわたる生存が期待できる、という報告が様々ながんの分野でなされています。この研究は、既に手術を受けられた食道がん患者さんの術前の骨格筋量や栄養状態を含む様々な指標について振り返り、手術後の経過との関連を調べることを目的としています。

本研究によって、より正確な手術後の合併症や生存率の予測が可能となることが期待されます。また、手術前の患者さんの状態の改善が、手術後の合併症の減少や生存率の向上に寄与する可能性を探ることができます。

方法：

この研究では、患者さんに新たに検査を追加することはありません。既に検査済みの、手術前のCTの情報や、血液検査のデータ、術中や術後経過の情報などを使用させていただきます。

3. 研究に用いる情報の種類

手術前のCT、血液検査のデータ、術中や術後経過の情報、退院後の外来通院中の情報

4. 外部への情報の提供・公表

個人を特定できる情報は当施設にて厳重に管理いたします。

集積した情報を解析した結果については、各種学会や学術雑誌にて公表される予定であります。ただしこの場合も、個人を識別することができる情報を用いることはありません。

5. 研究組織

- ・ 恵佑会札幌病院
- ・ 北海道大学大学院・医学研究院 消化器外科学教室Ⅱ

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問などがございましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、ほかの研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

また、患者さんの情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた情報を結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には個人を識別することができる情報は含まれません。

研究責任者

北海道大学大学院・医学研究院 消化器外科学教室Ⅱ 准教授 七戸 俊明

〒060-8638 札幌市北区北 15 条西 7 丁目

TEL : 011-706-7714 FAX : 011-706-7158

研究分担者

恵佑会札幌病院 消化器外科 上村志臣

〒003-0027 北海道札幌市白石区本通 14 丁目北 1 番 1 号

TEL : 011-863-2101 FAX : 011-864-1032